

# アイアシ

*Phacelurus latifolius* (Steud.) Ohwi  
イネ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地・個体数ともに少ない。

## 分 布

全国分布は、北海道～九州。県内分布は、福井市、坂井市。

## 種の特徴

根茎は地中に伸びる。高さ 80～120 cm、葉は広い線形で長さ 20～40 cm、幅 1～4 cm。葉鞘は縁に毛がある。花序は 5～12 本の総を茎頂に直立。中軸は 3 稜形。無柄と有柄の小穂が対になってつく。

## 生育を脅かす要因

海岸や河口の砂地に生育するため、環境の変化に弱い。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、林弥栄・平野隆久（2013）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						○

# マツモ

*Ceratophyllum demersum* L.  
マツモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

池沼の開発や水質汚濁などによる生育環境の消失や悪化により減少している。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

池や川に生える沈水性の水草。茎は長さ 20～80cm、分枝し、もろい。数枚の葉を輪生し、長さ 1.5～2.5cm、裂片には細かい刺状の鋸歯がある。6～8 月頃、小さい花が咲くが、雄花が先に形成される。冬、植物体は枯れるが、枝の先端にできた越冬芽が残り、翌春発芽する。

## 生育を脅かす要因

生育地である池沼の開発、水路改修、水質汚濁などによる生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○	○		○		○	○	○	○			○	○

# ヤマブキソウ

*Hylomecon japonica* (Thunb.) Prantl et Kündig  
ケシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内での生育地は 3 地区であるが、2 地区で新たな生育地が確認されたので、県域絶滅危惧Ⅰ類から県域絶滅危惧Ⅱ類とした。今後、森林の改変や園芸採取が危惧されるので、生育地や個体数の変動に注目したい。

## 分 布

本州～九州に分布する。県内では若狭町、勝山市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

山地や平地の樹林地に群生する多年草。根茎があり、全体にやわらかく、鮮緑色。縮れた毛がまばらにある。根出葉に長い柄がある。羽状複葉で、小葉は 5～7 個。花期は 4～5 月、上部の葉の腋に 1～2 個付け、鮮黄色。蒴果は線形、直立し、やや多数の種子がある。

## 生育を脅かす要因

森林開発、園芸採取、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○														○	○	